

教育・研究などへの取組状況(令和 7 年度)

総合工学システム学科	系・コース
	エネルギー機械コース
職階	氏名
講師	玉置 友史

項目	取組状況
教 育	<p>ティーチングアシスタント:</p> <p>「ビジネスエンジニアリング研究」「ビジネスエンジニアリングゼミナール 1」 「材料分析学」</p> <p>工夫・改善した点:新たな専門分野を学ぶ学生に対して、適宜補助資料を製作・提示して理解を助けた。</p>
研 究	<p>論文投稿</p> <p>1. Metal species-dependent structural formation in metal oxide-based oxygen reduction reaction catalysts synthesized via ammonia nitridation of metal polyacrylates, Yushi Tamaki, Satoshi Seino, Atsuhiko Ueno, Yuta Uetake, Takaaki Nagai, Ryuji Monden, Akimitsu Ishihara, and Takashi Nakagawa, Journal of Materials Science Volume 61, pages 10099-10112, 2026 DOI: 10.1007/s10853-026-12435-2</p> <p>2. Selective control of degree of nitridation of titanium oxynitride in carbon composites by adjusting trace oxygen under ammonia atmosphere Yushi Tamaki, Satoshi Seino, Yuta Uetake, Takaaki Nagai, Ryuji Monden, Akimitsu Ishihara, and Takashi Nakagawa Journal of Alloys and Compounds Communications, Volume 8, 100136, 2025 DOI: 10.1016/j.jacomc.2025.100136</p> <p>学会発表</p> <p>1. 2025 MRS Spring Meeting &amp; Exhibit @Seattle, USA ポスター番号:SU05.05.15 Preparation of Titanium Oxynitride-Based Platinum-Free Cathode Catalyst for Polymer Electrolyte Fuel Cells by Ammonia Nitridation of Titanium Complexes, Tamaki Y., Satoshi S., Uetake Y., et al.</p> <p>その他国内学会発表 2 件</p> <p>研究費</p> <p>1. 科研費「燃料電池用金属酸窒化物触媒のアンモニア窒化法を用いた合成と評価」</p>
社会貢献	該当なし

※本取り組みは、大阪大学大学院博士後期課程在籍時に実施した内容です。

<記入上の注意> ※可能な限り 1 ページ/年度にまとめてください。

教育:該当年度の担当科目, 担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載。

研究:該当年度の研究テーマ, 学外発表実績, 外部資金獲得状況, 共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業, 出前授業, 学協会活動などを記載

教育・研究などへの取組状況(令和6年度)

総合工学システム学科	系・コース
	エネルギー機械コース
職階	氏名
講師	玉置 友史

項目	取組状況
教 育	ティーチングアシスタント: 「ビジネスエンジニアリング研究」「ビジネスエンジニアリングゼミナール1」 工夫・改善した点:新たな専門分野を学ぶ学生に対して、適宜補助資料を製作・提示して理解を助けた。
研 究	論文投稿 1. Synthesis and characterization of titanium oxynitride catalyst via direct ammonia nitridation of titanium polyacrylate for oxygen reduction reaction, Yushi Tamaki, Satoshi Seino, Naoki Shinyoshi, Yuta Uetake, Takaaki Nagai, Ryuji Monden, Akimitsu Ishihara, and Takashi Nakagawa, Journal of Materials Science: Materials in Engineering, Volume 19, No. 40, 2024 DOI: 10.1186/s40712-024-00189-1  2. Synthesis and characterization of zirconium oxide-based catalysts for the oxygen reduction reaction via the heat treatment of zirconium polyacrylate in an ammonia atmosphere, Atsuhiko Ueno, Satoshi Seino, Yushi Tamaki, Yuta Uetake, Takaaki Nagai, Ryuji Monden, Akimitsu Ishihara, and Takashi Nakagawa, Journal of Materials Science Volume 60, Pages 2774-2785, 2025 DOI: 10.1007/s10853-025-10620-3  学会発表 国内学会発表3件  研究費 1. 科研費「燃料電池用金属酸窒化物触媒のアンモニア窒化法を用いた合成と評価」
社会貢献	該当なし

※本取り組みは、大阪大学大学院博士後期課程在籍時に実施した内容です。

<記入上の注意> ※可能な限り1ページ/年度にまとめてください。

教育:該当年度の担当科目,担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載。

研究:該当年度の研究テーマ,学外発表実績,外部資金獲得状況,共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業,出前授業,学協会活動などを記載

教育・研究などへの取組状況(令和5年度)

総合工学システム学科	系・コース
	エネルギー機械コース
職階	氏名
講師	玉置 友史

項目	取組状況
教 育	<p>ティーチングアシスタント: 「ビジネスエンジニアリング研究」「ビジネスエンジニアリングゼミナール1」 工夫・改善した点:新たな専門分野を学ぶ学生に対して、適宜補助資料を作製・提示して理解を助けた。</p> <p>FD等への取り組み 大阪大学学際大学院機構高度副プログラム「未来の大学教員養成プログラム」参加</p>
研 究	<p>学会発表 国内学会発表5件</p> <p>研究費 1. 科研費「燃料電池用金属酸窒化物触媒のアンモニア窒化法を用いた合成と評価」</p>
社会貢献	該当なし

※本取り組みは、大阪大学大学院博士後期課程在籍時に実施した内容です。

<記入上の注意> ※可能な限り1ページ/年度にまとめてください。

教育:該当年度の担当科目,担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載。

研究:該当年度の研究テーマ,学外発表実績,外部資金獲得状況,共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業,出前授業,学協会活動などを記載